

審査の結果の要旨

氏名 竹内朋子

本研究は新卒看護師の精神健康と職業性ストレス対処において重要な役割を演じていると考えられるSense of Coherence (SOC)に着目し、第一に両者の入職を契機にした変動の実態、第二に精神健康の変動が職業継続意欲に及ぼす影響、そして第三に精神健康の変動に対するSOCの影響を明らかにするため、インターネット調査により入職前の段階から対象者を追跡する縦断調査を試みたものであり、下記の結果を得ている。

1. 入職を契機にした精神健康、SOCの変動の実態

新卒看護師の精神健康は入職前から入職後3ヶ月にかけて有意に悪化し、入職後3ヶ月から1年にかけて改善するものの、入職後1年の精神健康の水準は入職前よりも有意に不良であった。また、ストレスに対処する力であるSOCは、入職前から入職後1年へかけて、下位尺度である把握可能感、処理可能感、有意味感の全てが有意に低下していた。

2. 入職前から入職後3ヶ月にかけての精神健康の変動が職業継続意欲に及ぼす影響

新卒看護師の職業継続意欲には、精神健康の一時点の水準だけでなく、過去の時点からの変動も有意に影響していた。また、精神健康とその変動は、職業性ストレスを媒介して職業継続意欲に影響していた。

3. 精神健康の変動に対するSOCの影響

新卒看護師の精神健康の悪化には、SOCの一時点の水準だけでなく、過去の時点からの変動も有意に影響していた。また、職業性ストレスはSOCとその変動を媒介して職業継続意欲に影響していた。

以上、本論文は新卒看護師の精神健康とSOCの入職を契機にした変動をもとに、精神健康の変動が職業継続意欲に及ぼす影響、ならびに精神健康の変動に対するSOCの影響を明らかにした。本研究はこれまで充分に取り組まれてこなかった精神健康の維持・改善のための支援の必要性と、新卒看護師のストレス対処に関する内的資質の育成促進という新卒看護師支援の新たな方向性の提示に貢献するものであり、学位の授与に値するものと考えられる。